



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月14日

上場会社名 宮越ホールディングス株式会社
 コード番号 6620 URL <http://www.miyakoshi-holdings.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 宮越 邦正
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画部長 (氏名) 板倉 啓太
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-3298-7111

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	4,163	△1.3	380	60.7	301	32.3	137	15.6
25年3月期第3四半期	4,219	△34.3	236	△5.5	227	△4.9	118	△32.9

(注)包括利益 26年3月期第3四半期 288百万円 (156.4%) 25年3月期第3四半期 112百万円 (14.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	8.83	—
25年3月期第3四半期	7.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	12,775	2,962	21.2	174.53
25年3月期	12,200	2,680	20.3	159.73

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 2,711百万円 25年3月期 2,481百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,500	1.7	770	132.6	770	180.7	450	169.7	28.97

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	15,534,943 株	25年3月期	15,534,943 株
26年3月期3Q	213 株	25年3月期	53 株
26年3月期3Q	15,534,804 株	25年3月期3Q	15,534,912 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国では雇用の改善等に伴い個人消費が堅調に推移し、欧州では債務危機問題が落ち着きを見せるなど、先進国では緩やかな景気回復の兆しが見えてまいりました。また、中国をはじめとする新興国では、景気減速の懸念が一段と強まっているものの、総じて安定した成長率を維持いたしました。

我が国におきましては、円安・株高による輸出企業の収益の底上げや消費者マインドの改善から、景気回復感が広がりましたが、一方で、円安による輸入燃料や原材料等の価格の高騰、海外景気の下振れに伴う影響等の懸念により、景気の先行きは依然不透明な状況となっております。

このような状況下、当社グループは、持株会社体制に移行し3年目を迎え、新体制の下、持続的成長に繋がる新たな中長期投資計画を策定し、グループの企業価値の向上を目指し取り組んでまいりました。

事業子会社におきましては、経営面では、より強固な経営基盤を構築するため、人事の刷新、内部管理体制の強化・充実、人材の育成に注力いたしました。営業面では、収益力の一段の向上に鋭意取り組んでまいりました。

電気機器等の製造販売事業におきましては、世界的な市場の低迷や新興メーカーとの価格競争激化が続く厳しい事業環境の中、新たな利益の創出を図るため、販売先や仕入先と連携し、市場競争力のある新製品の開発を進め、戦略的な投入・拡販に注力してまいりました。

不動産賃貸管理部門におきましては、中国深セン市中心部に保有する不動産の賃貸管理を行っており、当該部門は、深セン市の持続的な経済成長により、不動産賃貸市場の活況が維持されたことから、引き続き堅調に推移いたしました。

不動産開発部門におきましては、前述の保有土地について、総延べ床面積約60万平方メートルの都市総合開発を予定しております。広大な規模となる当該開発は、深セン市中心部の最も注目されるエリアに位置し、金融・ハイテク・サービス産業の育成を推進し国際化への一層の進展を図る深セン市の重要な位置づけとなっていることから、中国政府機関等からの支持を受け、現在、各行政機関と協議調整を図りながら、開発申請に向け計画の策定を行っております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は4,163百万円（前年同期比1.3%減）、営業利益380百万円（前年同期比60.7%増）、経常利益301百万円（前年同期比32.3%増）、四半期純利益137百万円（前年同期比15.6%増）を計上いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ574百万円増加し、12,775百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加や売掛金の増加によるものであります。また、負債につきましては、前連結会計年度末に比べ292百万円増加し、9,812百万円となりました。これは主に、営業債務の増加によるものであります。純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ282百万円増加し、2,962百万円となりました。これは主に、四半期純利益の計上および為替換算調整勘定の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、平成25年5月15日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	147	336
売掛金	977	1,468
たな卸資産	46	15
その他	428	386
貸倒引当金	△5	△8
流動資産合計	1,595	2,199
固定資産		
有形固定資産	56	44
無形固定資産		
のれん	472	442
土地使用権	1,192	1,305
その他	0	0
無形固定資産合計	1,666	1,748
投資その他の資産		
長期貸付金	15,947	15,856
その他	869	899
貸倒引当金	△7,933	△7,973
投資その他の資産合計	8,882	8,782
固定資産合計	10,605	10,575
資産合計	12,200	12,775
負債の部		
流動負債		
買掛金	881	1,344
短期借入金	—	39
未払法人税等	36	64
引当金	3	2
その他	570	307
流動負債合計	1,492	1,758
固定負債		
長期借入金	7,696	7,696
引当金	11	9
その他	319	348
固定負債合計	8,027	8,054
負債合計	9,520	9,812

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000	2,000
資本剰余金	1,744	1,744
利益剰余金	△639	△502
自己株式	△0	△0
株主資本合計	3,105	3,242
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△623	△531
その他の包括利益累計額合計	△623	△531
少数株主持分	199	251
純資産合計	2,680	2,962
負債純資産合計	12,200	12,775

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	4,219	4,163
売上原価	3,686	3,358
売上総利益	533	805
販売費及び一般管理費	296	424
営業利益	236	380
営業外収益		
受取利息	6	54
受取補償金	—	50
その他	0	17
営業外収益合計	6	122
営業外費用		
支払利息	2	51
貸倒損失	—	148
租税公課	4	0
支払手数料	3	—
その他	5	0
営業外費用合計	15	201
経常利益	227	301
特別損失		
有形固定資産除却損	—	25
特別損失合計	—	25
税金等調整前四半期純利益	227	276
法人税、住民税及び事業税	88	162
法人税等調整額	14	△40
法人税等合計	103	121
少数株主損益調整前四半期純利益	124	154
少数株主利益	5	17
四半期純利益	118	137

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	124	154
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△12	133
その他の包括利益合計	△12	133
四半期包括利益	112	288
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	107	229
少数株主に係る四半期包括利益	4	58

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。